

印刷インキに関する自主規制(NL規制)とは

- 1973年(昭和48年)に食品包装材料用印刷インキに対して食品包材の安全性を高めるために、業界の自主規制として制定
- 規制対象となる化学品は、当初60種
その後見直され対象化学品を追加し130種に増加
- 規制対象を食品包装材料用印刷インキから、インキ全体に拡大(生産・使用される人への安全性を高める観点)
- 2006年(平成18年)に新たなNL規制を制定
規制対象となった化学品は約530物質・類に拡張
- 印刷インキ工業連合会の会員会社は規制物質の使用削減に取り組んでいる